

## 令和5年度事業報告書

令和5年度は、令和5年5月30日開催の定時社員総会で承認された事業計画及び収支予算に基づき、県、警察、各地区防犯(生活安全)協会など関係機関・団体と緊密な連携の下、犯罪のない日本一安全・安心な長崎県を目指し、県民の平穏な生活を脅かす犯罪の防止対策、風俗環境浄化及び少年の健全育成等に関する事業を次のとおり行った。

### 第1 犯罪防止のための広報・啓発事業

#### 1 地域安全活動に係る広報活動

##### (1) 全国地域安全運動の推進

全国地域安全運動(10月11日から同20日)に合わせ、

##### ア 防犯ポスターによる広報・啓発

公募したポスター、標語及び青パト活動写真の入選作品を合体し、「防犯広報ポスター」5種500枚を作成のうえ、

- ・県下各警察署(地区防犯協会)宛送付
- ・長崎、県営、西肥、島鉄バス4社のバス車内に計40枚

を掲示し広報した。

##### イ バス車体のラッピング広報

長崎、県営、西肥、島鉄バス4社のバス7台で6か月間、ニセ電話詐欺等被害防止広報大使である佐世保出身の歌手 前川清氏のニセ電話詐欺被害防止を車体にラッピングして広報を実施した。

##### ウ 防犯ポスターの掲示・広報

公募した防犯ポスター作品を長崎市茂里町ココウォークバスセンターに掲示・広報した。(10月11日～10月18日)

##### エ 防犯標語入りキャンペーングッズの配布

県下各警察署(地区防犯協会)に、防犯標語入りのキャンペーングッズ(ウエットティッシュ・マスク)を送付のうえ、各地区のキャンペーンにおいて配布した。

##### (2) ニセ電話詐欺被害防止に係る広報啓発

- ① ニセ電話詐欺の被害が増加したことから、令和5年は歯止めをかけるべく、テレビによるスポットCM、バス車体にラッピングをして広報活動を行い、ニセ電話詐欺被害防止を呼びかけた。

また、風俗営業管理者講習では、講習までの待ち時間にニセ電話詐欺防止のDVDを放映し、終了時に県内のニセ電話詐欺被害状況の現状と対策について講話して、被害防止を呼びかけた。

- ② 夏の高校野球選手権長崎大会におけるケーブルテレビスポットCM広

報(長崎ケーブルメディア 30秒:57回放映)で被害防止を広報した。

③ 長崎新聞・NBC ラジオ共同企画「高齢者安全・安心見守りキャンペーン」で災害関係・特殊詐欺、交通安全の広報を掲載放送した。

④ テレビ(NIB、NCC)CM広報

ニセ電話詐欺被害広報を令和6年2月にNIB・NCCの2局で28回放映し、被害防止を広報した。

## 2 防犯活動の推進

12月15日の年金支給日に消費者センター、郵便局員、浦上署、生安企画課と長崎市岩屋町の岩屋郵便局で、客や通行人に対して、ニセ電話詐欺被害防止のチラシや防犯グッズ等を配布し、防犯強化を呼び掛けた。

また、12月18日から24日間、県庁の横断幕掲示場に「STOP!ニセ電話詐欺」の横断幕を掲示して、ニセ電話詐欺被害防止を広報した。

## 3 広報紙の発行

当会の活動を広く広報することや各地区防犯協会等との情報伝達・交換を図るため、「防犯ながさき」を作成、関係団体等に配付したほか、ホームページに掲載した。

## 第2 防犯関係団体等に対する助成、支援事業

### 1 地区防犯協会の活動支援

安全・安心まちづくりのため各種防犯活動を推進している各地区防犯協会に対し、当該活動に要する経費の一部を助成したほか、各種広報資料及び防犯グッズの提供などの支援を行った。

### 2 防犯ボランティア団体の活動支援

自主防犯パトロールを行う民間防犯ボランティア団体(青色パトロール隊)に対し、青色回転灯及び車体側面用マグネットシートを配布、支援した。

## 第3 防犯功労者等の表彰事業

### 1 防犯功労表彰

(1) 県防犯協会連合会表彰

各地区防犯協会からの推薦に基づき、防犯功労者等15名と防犯功労団体6団体を表彰した。

(2) 全国防犯協会連合会表彰

当会等からの推薦に基づき、金章1名、銀章2名、銅章5名が受章した。

(3) 九州防犯協会連絡協議会表彰

当会からの推薦に基づき、個人4名及び防犯功労表彰1団体が受賞した。

### 2 防犯ポスター・標語の募集、表彰等

(1) 県民の防犯意識の高揚を図るため、防犯モデルポスター・標語及び青パ

ト活動写真を募集した結果、防犯ポスター25点、防犯標語125点、青パト活動写真5点の応募があった。その応募作品の中から、それぞれ最優秀1点、優秀5点、佳作5点及び青パト活動写真最優秀1点、優秀1点を選考の上、入選者に対し県防連会長、県警本部長連名の賞状と記念品を贈呈した。その他の応募者全員に参加賞を贈った。

#### (2) 防犯ポスター展の開催

10月の全国地域安全運動期間中、長崎市茂里町ココウォークバスセンターにおいて、防犯ポスターコンクールの応募作品を展示し、市民の防犯意識啓発を図った。

### 3 令和5年地域安全・暴力追放運動「安全・安心まちづくり長崎県大会」開催

10月13日、大村市のシーハットおおむら「さくらホール」で令和5年地域安全・暴力追放運動「安全・安心まちづくり長崎県大会」を開催した。

第1部は、暴力追放活動、防犯活動功労者、団体及び防犯標語、青パト写真最優秀者に対する表彰の授与した。

第2部は、長崎出身で歌手の前川清二セ電話詐欺等被害防止広報大使による歌謡トークショーを実施した。

## 第4 風俗環境浄化及び少年の健全育成事業

### 1 善良の風俗環境保持のための事業

#### (1) 受託事業の実施

公安委員会からの委託を受けて次の事業を行った。

##### ア 風俗営業の管理者講習

風俗営業の管理者に対し法定講習を長崎市会場など7会場で11回、170名に行った。

##### イ 風俗営業所委託調査

新規風俗営業施設の委託調査を5箇所実施した。

#### (2) 落書き一斉消去モデルボランティア事業

防犯及び善良の風俗環境の保持等を目的として、日本塗装工業会長崎県支部の協力を得て、南島原警察署、南島原市防犯協会、島原振興局、深江町自治会長会・南島原市少年補導員連絡協議会、万町・深江地区安全安心まちづくり「くすのき会」、県警本部生活安全企画課、南島原署員等多くの参加者による、深江町のがまだすロード高架下暗渠、国道下暗渠の2箇所では落書き消去活動を行った。

### 2 少年の健全育成関係事業

#### (1) 少年補導員等ボランティア活動への支援

少年非行防止と健全育成に取り組んでいる長崎県少年補導員連絡協議

会に対し活動助成金として10万円を交付した。

(2) 少年の健全育成のための広報啓発資料の配布

7月に実施された内閣府主催の青少年の非行問題に取り組む全国強調月間の期間中、各地区で実施されるキャンペーン等に協賛し、リーフレットチラシ等広報資材を提供してその活動を支援した。

## 第5 防犯指導技能養成事業

令和5年度は、金子昌隆福岡県安全・安心まちづくりアドバイザーを講師として「犯罪のない安全安心まちづくり～いま、できる事に気づけばコミュニティ環境が向上し、地域の安全安心が育つ～」の題材で、各校区の自治会、青色パトロール隊、学生ボランティア（ヤングライズ）等を対象に研修会を実施した。

## 第6 その他の活動

### 1 街頭犯罪・侵入犯罪の防犯対策の推進

県、警察が取り組んでいる「犯罪なく3ば運動」の推進を図った。

- 各地区防犯（生活安全）協会に対して、「犯罪なく3ば運動」推進グッズを配布
- 6月9日（ロックの日）、西彼杵郡長与町の長与駅前において自転車の盗難防止を目的とし、駐輪場の自転車のロック状況確認、鍵掛の徹底を目的にキャンペーンを実施

### 2 薬物乱用防止対策の推進

薬物乱用防止啓発ポスター、リーフレット等を関係機関・団体に頒布して薬物乱用の実態と有害性の啓蒙に努めた。また、中・高校生対象の薬物乱用防止教室において使用する啓発チラシ等の広報資材を提供し、青少年への薬物拡散防止を図った。

### 3 防犯対策の調査・研究関係

防犯対策の充実、高度化を図るため、各種防犯対策会議及び研修会に専務理事及び事務局職員が出席し、防犯対策に関する知識、情報の収集に努め、その会議等の結果を各地区連や地域防犯団体等にフィードバックするなど、その有効活用を図った。

また、全防連発行の月刊誌「安心な街に」、「家庭と防犯」等の防犯情報誌を定期購読し、防犯対策の調査、研究に努めた。

主な会議及び研修会の出席状況は次のとおり。

- (1) 長崎県青少年育成連絡協議会総会
- (2) 九州防犯協会連合会総会・生活安全課長会議
- (3) 都道府県防犯協会専務理事・風俗環境浄化事業運営管理者会議
- (4) 九州各県防犯協会専務理事会議

- (5) 防犯指導技能養成研修会
- (6) 薬物乱用防止指導員協議会
- (7) 交通安全推進県民協議会総会
- (8) 令和5年度第1回・2回長崎県子育て条例推進会議

## 第7 収益事業関係

### 1 パチンコ店立入検査事業

遊技業の適正かつ健全化を図るため、遊技場営業所について、不正防止の一環として、簡易チェッカーを活用し、95店舗の立入検査を実施した。

### 2 古物商許可標識等発行取次事業

古物商、風俗営業等に係る許可標識等発行取次状況は次のとおり。

- ・ 古物商許可標識            169枚